

【概要】

組織が傷害を受けると、炎症・免疫反応により有害因子（異物や壊死組織など）が除去され、その後、組織修復反応によって治癒に至る。この一連の反応に異常が起これば、組織は正常に修復されず様々な疾患の要因となる。薬物療法学では、炎症・免疫反応の異常によって起こる疾患（炎症性疾患、アレルギー疾患、自己免疫疾患など）に焦点をあて、病態メカニズムと薬理学的背景に基く薬物療法について学修する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による